



令和2年4月24日
長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院

報道関係各位

プレスリリース

来院者全員トリアージ、「帰国者・接触者外来」機能強化を実施
新型コロナウイルス感染防止対策 2020年4月27日から

長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院（佐久市白田、院長：渡辺 仁）では新型コロナウイルス感染拡大に伴い、院内感染を予防する目的で来院者全員にトリアージを行い、帰国者・接触者外来専用の特設外来を設ける。

実施概要

【開始日】2020年4月27日（月）

【実施内容】

- ① 院内の出入り口を正面玄関（24時間開錠）・第2駐車場入り口（平日のみ8時00分～16時30分開錠）に限定
- ② 病院の屋外に患者・患者家族・面会希望者など来院者全員に、問診票によるトリアージを実施
- ③ 4月20日から休止をしている、人間ドック外来に帰国者・接触者外来を特設

新型コロナウイルス感染症疑いの患者と一般受診者や職員が接触するリスクを減らすことを目的としている。

帰国者・接触者外来は、今まで通り保健所内相談センターに相談後、指示があった患者が受診をすることを原則としており、症状や感染の疑いがある場合は相談センターに連絡が必要である。

また、問診票は病院ホームページに公開されており、来院前に記入することも可能だ。

経緯

総合診療科内に新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者を診療する帰国者・接触者外来を設けていたが、近日の長野県内での感染者数と相談者数の増加を受けて設置することに至った。

その他

小海分院では、南牧村で感染者が発生したことがあり4月20日から来院者全員に問診票を使ったトリアージと検温を行っており、発熱外来を特設している。

院内感染対策としては、小海分院は上記の理由で3月31日に、本院・佐久医療センターは非常事態宣言が全国に拡大したことを受け、4月20日から職員に対し出勤前の検温と体調管理を義務付けている。また、受付・会計にはビニールを利用した仕切りを設置し、職員と患者間の感染対策を行なっている。

【報道機関からの本件に関するお問い合わせ先】

佐久総合病院 秘書広報課

月～金曜日 8時30分～17時00分

TEL 0267-82-3131（代表） FAX 0267-82-7533